

スチュワードシップ活動

No.2024－88

2024 年 9 月 30 日
責任投資推進部

投資先企業(国内上場株式)に対する議決権行使基準の改正

- 第一生命は、投資先企業(国内上場株式)に関する議決権行使基準について、一部改正を行います。
今回公表の主な改正項目は以下のとおりです。

【議決権行使において重視するポイント※】

- ◆ 政策保有株式について、「早期に純資産対比で過大でない水準まで(純資産の 20%以下)の縮減が必要である」旨を明記する。
- ◆ 取締役会・中核人材の多様性向上に向け、「2030 年を目途に女性取締役比率 30%以上の実現、女性登用のパイプライン構築等の着実な取組みが必要である」旨を明記する。

※ 重視する考え方であり、エンゲージメントにおける重点テーマとすることで具体的な取組みを求めます。

【議決権行使基準】

<取締役選任における反対対象者の拡大>

- ◆ 取締役会構成・多様性についての体制整備を全取締役が責任を持って行うべきという考えのもと、以下基準における反対対象者を代表取締役から再任取締役全員とする。
 - ・独立社外取締役が一定人数に満たない企業(2025 年 4 月適用開始)
 - ・女性取締役が不在である東証プライム市場の上場企業(2026 年 4 月基準導入と同時に適用開始)
- ◆ 企業の株主還元を一層促す趣旨から、株主還元が不十分であると判断した企業については、反対対象者を代表取締役から再任取締役全員とする。(2026 年 4 月基準適用)(取締役会決議で剰余金処分を決定している等株主総会において剰余金処分議案が上程されない企業の取締役選任議案が対象)

<取締役選任基準の引き上げ>

- ◆ より実効性のあるガバナンス体制実現のため、支配株主を有する東証プライム市場の上場企業について、「独立社外取締役人数について取締役総数の過半数」を求める。(2026 年 4 月適用開始)

※詳細については以下の当社ホームページをご参照下さい

議決権行使基準の改正

https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/investment/pdf/ssc_002.pdf

議決権行使基準

https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/investment/pdf/ssc_001.pdf